

## グランメッセ 2月の主なイベント情報

空港直行バスは、グランメッセ熊本(益城町)前にも停車します。週末は家族でグランメッセに行ってみませんか?  
楽しいイベントがあなたを待っています。

開催日時	イベント	主催者・問合せ先
4(土)~5(日) 10:00~17:00	すばいす 手づくりフェア Vol.3	熊本日日新聞社 ☎096-214-1613 (株)アドベンチャー
9(木)~12(日) 10:00~17:00	全国の陶器まつり窯元市	全国窯元市振興会 ☎092-502-5370
10(金)~12(日) 10:00~17:00	第3回 環境&福祉ビジネスフェア in Kumamoto	同実行委員会(財)自治総合センター ☎096-333-2321 (熊本県産業支援課)
18(土)~19(日) 10:00~17:00	すばいす フリマ*フリマ Vol.8	熊本日日新聞社 ☎096-214-1613 (株)アドベンチャー
25(土)~26(日) 10:00~16:00	子育て応援団 すこやか2006	子育て応援団 すこやか2006実行委員会 ☎096-363-6118

### 時刻表

宇城市(松橋)発 熊本空港行						
バス停名称	1便	2便	3便	4便	5便	
宇城市役所	乗車のみ	6:30	8:40	12:30	14:40	17:15
松橋駅前	乗車のみ	6:36	8:46	12:36	14:46	17:21
松橋産交	乗車のみ	6:41	8:51	12:41	14:51	17:26
グランメッセ前	降車のみ	7:05	9:15	13:05	15:15	17:50
熊本空港	降車のみ	7:18	9:28	13:18	15:28	18:03
国際線ターミナル前	降車のみ	7:19	9:29	13:19	15:29	18:04
熊本空港発 宇城市(松橋)行						
バス停名称	1便	2便	3便	4便	5便	
熊本空港	乗車のみ	7:25	10:30	13:40	16:10	18:30
国際線ターミナル前	乗車のみ	7:25	10:30	13:40	16:10	18:30
グランメッセ前	降車のみ	7:37	10:42	13:52	16:22	18:42
松橋産交	降車のみ	8:01	11:06	14:16	16:46	19:06
松橋駅前	降車のみ	8:06	11:11	14:21	16:51	19:11
宇城市役所	降車のみ	8:12	11:17	14:27	16:57	19:17

### 旅客運賃(全区間一律)

片道	大人	750円
	小児	380円
往復乗車券	大人	1,340円

※往復乗車券は産交バス松橋営業所・産交バス三角営業所・宇城市役所会計課窓口(土・祝日を除く)で発売します。

●問合せ先  
産交テレホンセンター  
☎096-325-0100  
産交バス松橋営業所  
☎32-0856  
産交バス三角営業所  
☎52-3135  
宇城市役所企画課  
☎32-1111



## パートナーシップ通信

vol.14

男女共生係  
☎32-1111  
(内線245)  
FAX 32-0110

### ガイドブック・マップ完成

宇城市の男女が共に輝く地域づくり事業として、1月7日に風の館・塩屋(小川町小川)で「ボランティアガイドウォーキング・かるた会・七草粥」が行なわれました。

本事業では、ボランティアガイドのための「小川商店街史跡めぐりガイドブック」や、小川町商工会の協力による「宇城市小川町商店街限界方イドマップ」が作成されました。

このガイドブックは、旧小川町文化財保護委員の小田勝氏を中心にガイドブック編集委員が「小川町史」の学習会を積み重ね、50地点を越す史跡の解説をまとめたものです。(A4・14ページ)



また、マップは史跡の写真・イベント情報・歴史探訪コースと、商工会会員有志のイラストが両面フルカラーで紹介されており、楽しく小川町散策ができるよう作成されています。

このガイドブックとマップが完成したため、ガイド登録者の実地研修を兼ねたウォーキングが開催され、小川小学校の児童をはじめ約50人が参加しました。



小川商店街近郊の史跡をガイドの案内で散策する中、昔の海岸線を想像させる「阿蘇神社の船つなぎの桶」や点在する「観音寺の十六羅漢像」では、厳しい寒さにもかかわらず白い息を吐きながら熱心に聞き入っていました。



昼にはカルタ会への参加者も加わり、七草がゆを味わいました。材料の七草は、風の会のスタッフが近隣から採ってきたもので、「せり・なずな・ごぎょう・はこべ・ほとけのぎ・すずな・すずしろ」と実物を見ながらの説明もありました。



続いて、「鉄眼禅師は三宝寺うまれ」など、小川の郷土史を題材にしたカルタを楽しみました。



参加者からは「ガイドさんの工夫された話し振りから、小川の史跡を学ぶ楽しさを感じた」「七草がゆ・カルタ会に昔の正月の光景を思い出した」などの感想が寄せられていました。

みんなで学ぼう

# ピンけん

生涯学習課  
人権教育係  
☎33-1240  
(内線332)

### 同和問題で知りたいこと、学習したいことは何

よく、「どのような部落差別があるのだろうか」という話を聞くことがあります。

部落差別はあってはならないことですが、現在でも差別につながる身元調査やインターネット書き込み・落書きなどが起こっています。

「結婚し子どもが生まれます。生まれた喜びとともに、子どもに部落差別が降り掛かることを思うと眠れないことがある」と胸の内を語った人がいます。このような不合理を次の世代に引き継がせないためにも、自身の痛みとして受けとめ、行動していきましょう。

また、予断(きめつけ)や偏見(偏った見方、考え方)が日常には数多くあります。私たちは、

日常こういったことに全く無頓着で生活をしているのではないのでしょうか?

他人のことに値打ちをつけてうわさ話をし、差別をすることを空気を吸うがごとく受け入れてしまっているのではないのでしょうか?

行政の研修に自分で参加してみたり、学校の同和教育に参加することで子どもと一緒に学習する機会を持ったらどうでしょうか?

同和問題は、あらゆる差別のことも考えさせてくれます。身の回りの差別と部落問題はつながったり重なったりします。「私には関係ない」「必要ない」ではありません、身近なところに差別はあります。そこから見つめ直しましょう。